

分野	達成項目・評価の観点	自己評価平均	関係者評価平均
1	学習指導	3.5	3.7
<p>【関係者の御意見・御要望等】</p> <p>・表現する力を養うことが目的なら、クラス代表のみではなく全員が発表する機会があってもよいのではないかと。どんな場でどんな発表方法なのかわからないため、時間や場所の制限があるから、代表のみということなのかもしれません。</p>			
<p>【今後に向けての学校の考え】</p> <p>「今後の課題」にもあるように基礎力を定着させたいと、応用力や多面的な思考力を養うために、年間を見通した指導計画を立てていきます。ICT機器の活用と探究学習は知的好奇心を育む上で非常に大切なものと認識しており、今後も継続的に取り組んでいくことはもちろん、さらなる活用を目指して検討を重ねていきたいと思ひます。ご指摘の発表の方法等については時間や場所の制約がありますが、より良い内容になるように検討を重ねていきたいと思ひます。</p>			

分野	達成項目・評価の観点	自己評価平均	関係者評価平均
2	中高一貫教育	3.5	4.2
<p>【関係者の御意見・御要望等】</p> <p>・特になし</p>			
<p>【今後に向けての学校の考え】</p> <p>今回は特にご指摘はありませんでした。今後も引き続き魅力ある教育に取り組むとともに、さらなる改善を目指します。本校としては少子化や受験者数の減少により、現在と同じように一貫コースを維持していくことは難しいと捉えています。今後の中高一貫のあり方については、ワーキンググループ内で議論を重ねており、その中では一部他コースとの混合という意見も出てきていますが、今まで培ってきたものを最大限生かせるような枠組みをしっかりと作っていきたくて思ひます。</p>			

分野	達成項目・評価の観点	自己評価平均	関係者評価平均
3	常葉大学・常葉大学短期大学部との連携教育	3.5	3.8
<p>【関係者の御意見・御要望等】</p> <p>・今年度行った、附属校入試を動画視聴で保護者にも知ってもらうという方法は来年度からも続けた方がいいと思ひます。附属高校であることが大学進学への強み(魅力)になるが、生徒だけでは大学入試の情報をつかみ切ることが難しいと思ひます。</p> <p>・学びたいことが見つかった生徒に対して、学びたい場所(自分が常葉大学で学ぶ未来図)を実際の大学の先生方と交流することで想像しやすくなると思ひます。</p> <p>・附属高校の強み(附属校入試や常葉大学の情報が前もって手に入る)を、子どもだけではなく保護者の方々にも知ってもらうために、生徒だけでなく保護者へもアプローチしていくのがいいと思ひます。</p>			
<p>【今後に向けての学校の考え】</p> <p>ご指摘にあるように、附属校に関する知識は生徒のみならず、保護者の方々にも共有していただくことは非常に大切なことです。今後もこの取り組みは継続してまいります。また高校在学時に大学の先生との交流の場があることは大学を知るだけでなく大学の先生の人となりを知る機会にもなり、興味・関心も高まると考えます。看護学科との企画のコラボレーションも新たな取り組みとして始まるので期待したいと思ひます。</p>			

分野	達成項目・評価の観点	自己評価平均	関係者評価平均
4	進路指導	3.8	4.1
<p>【関係者の御意見・御要望等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学受験を初めて目にしたので、たくさんの情報に正直困惑した。子ども本人が志望大学や志望学部について強い希望をもちそれに向かって情報収集をし、努力できる子どもならまだいいかも知れないが、そうではない場合は親への情報提供が必要だと思う。高校1年生の時に自分が大学生になることを想像して、選択制の講座を積極的に希望して受講する子どもは少ない気がするため、その時期の保護者へも情報を与えた方が良い。 ・他クラスの状況はあまり知らないが、子どものクラスの中で国公立大学への進学者が想像よりも多くない事に驚いた。もう少し多いのかなと思っていたが、今年も前期までで24人合格者がいたということで目標は達成されていて素晴らしいと思う。一方で、学力的にはもう少し国公立大学の合格者は多くてもいいのではないかと思う。 <p>【今後に向けての学校の考え】</p> <p>ご指摘にもあるように、大学受験に関する情報は多岐に亘ります。ましてや受験が初めてとなるとさらに困惑すると思います。本校ではできる限り保護者の方へのこまめな情報発信を心掛けており、不安を少しでも解消できるように努めています。生徒向けの行事も各学年の適切な時期に実施しており、進路について考える機会を提供しています。今後は受験動向の激しい変化に対応できるように、特に新しい情報に注目していきます。</p>			

分野	達成項目・評価の観点	自己評価平均	関係者評価平均
5	生徒募集・広報活動	4.1	4.1
<p>【関係者の御意見・御要望等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSの活用方法が素晴らしい。小学生・中学生が見て、「楽しそう」「ここの高校行きたい」という声を耳にする。知り合いに「常葉菊川に単願で行くことを考えているがどんな感じか」と聞かれる事が多くなって嬉しい。一方でまだ「私立高校は滑り止め校」というイメージもあるため(地域的に年代か…)、SNSも含めた広報活動でもっとたくさんの魅力(部活動・学校行事・進学実績など?)を伝えることも必要である。親が学校を知ることによって学校説明会にも足を運びたくなると思う。 <p>【今後に向けての学校の考え】</p> <p>授業料無償化の流れもあり、令和8年度生は大幅に増加しました。今年度は広報ツールとしてインスタグラムでの情報発信に努めました。登録者数も5,000人を超え、本校を知ってもらう大きなきっかけとなっています。説明会等の行事も増やしたこともあり、その成果が出ていることを実感しています。今後も行事をさらに充実させ、認知度を高めていきたいと思っています。</p>			

分野	達成項目・評価の観点	自己評価平均	関係者評価平均
6	組織の活性化	3.9	4.2
<p>【関係者の御意見・御要望等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吹奏楽部や応援団等、活躍の場ができたことで活性化に繋がったと思う。 ・校長先生をはじめ学校の先生方が、各部活動や個人の表彰などを頭に入れていて、色々な場で子どもたちを褒めてくださることを耳にする。子どもは(大人もですが)褒められると嬉しいし、そこからさらに頑張りたいと意欲がわくと思うので、応援文化は素晴らしいと思う。 <p>【今後に向けての学校の考え】</p> <p>今後も応援文化は継承していき、学校全体の活性化につなげていきたいと思っています。ご指摘のように生徒の活躍の場や讃えられる場が増えたことで、当該生徒はもちろん、まわりの生徒への波及効果も期待できます。部</p>			

活動の活躍により、まわりの部活動が刺激を受けるだけでなく、別の部活動の応援にも駆けつけるといった相乗効果も生まれています。不易流行という言葉がありますが、この取り組みはなくしてはならないと感じています。

分野	達成項目・評価の観点	自己評価平均	関係者評価平均
7	教員の教育力強化	3.7	4.1

【関係者の御意見・御要望等】

- ・生徒から具体的な指摘を受けて改善を図ることは教師にとってなかなかできることではないと思います。生徒にしっかりと向き合う姿勢が感じられました。
- ・先生方は本当に大変な時代だと思う。生徒だけでなく保護者も学校に意見を伝えやすい時代であり、情報社会であり、授業にも iPad を使用したり、先生方も時代に合わせて変化する必要がある。そんな時代なのでいろんな事を変えていかなければならず、大変な思いをしているだろうと本当に尊敬している。

【今後に向けての学校の考え】

・教科指導に関する情報も日々変化してきており、教員側も常にアップデートが必要になっています。授業アンケートを通じて教員は授業改善を図っていますが、それだけでは十分ではありません。外部研修に参加したり、他校の研究授業に参加したりする中で新しい情報に触れ、その情報を校内で共有することが必要になってきます。なかなかその時間が取れないのが現状ですが、業務の効率化も進めながら時間を生み出し、教員の教育力向上に努めていきたいと思っています。

分野	達成項目・評価の観点	自己評価平均	関係者評価平均
8	行事、部活動、生徒指導	3.9	4.1

【関係者の御意見・御要望等】

- ・体育祭では奇抜な髪型の子を注意し、一方では文化祭では個々の着飾りを容認し、一貫性がないようにも見えるが、私はその「ON・OFF」がちょうどいいと思う。ルールがある。ルールを守るから、自由が手に入るんだと小さな頃から伝えている私は「ルールの範囲内でできること、できない事」を自分で考えられる学校行事をやってくれている学校に感謝している。生徒のニーズを充分に取り入れていただきたい。
- ・指導者の影響が大きいので、途中で変わる場合は生徒の意向を理解してくれる人にしてもらいたい。優しいことが技術の向上の妨げになることもあると感じた。
- ・たくさんの部活動があり、たくさんの指導者がいて、いろんな指導方法がある。指導者も未熟な人からベテランまでいる。だからこそ、できることなら指導者には未熟な人とベテランの人を一緒にして欲しい。
- ・ボランティアは強要するものではないが、消極的な生徒（申し込みにも戸惑う、新しいことに不安を感じるなど）に対して個別に声をかけてもらえると嬉しいです。
- ・ボランティア活動に参加するための窓口が学校にある(学校から「こういうボランティアあるよ」と教えてもらえる)ことで、ボランティアに参加するきっかけになるため続けて欲しい。
- ・規則を守らないことには背景があるという考えは共感します。
- ・ダメなことはダメ、緩めるところは緩めるのは大事な事だと思う。

【今後に向けての学校の考え】

「生徒が自治する学校」を目標に掲げ、委員会活動の活性化をはかっていますが、生徒が自ら考え、行動する原点となっています。そのためリーダーシップがあり、粘り強い生徒も増えていると感じています。とはいえ一人だけでは判断に迷う生徒もいるので、同時に見守りと後押しも必要だと感じます。目まぐるしく変化する社会情勢の中では間違った情報も多く、今後も生徒が自ら取捨選択するための力をつけさせたいと思っています。

分野	達成項目・評価の観点	自己評価平均	関係者評価平均
9	保護者・卒業生・地域との連携	3.6	4.1
<p>【関係者の御意見・御要望等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTA としては子どもの学校生活に関われる最後のチャンスなので学校側からのご要望にはできるだけお応えしたいと思っています。 ・地域のイベントに部活動や美デ科で参加する事が素晴らしいと思う。いろんな企業さんが依頼をしてくれたりするのも、コツコツ続けることで増えることもあると思うのでぜひ今後も続けていって欲しい。 			
<p>【今後に向けての学校の考え】</p> <p>美・デ科は「みらい学」を通して地域貢献に大きな役割を果たしています。また一貫や文理コースでは卒業生という財産を大切にしながら行事を実施しています。地域に愛される、また応援してもらえる学校でい続けられるよう、様々な活動に積極的にかかわっていきたいと思います。PTA とも連携を密にし、さらに教育活動を充実させていきたいと思います。</p>			